

ネパール政治ニュース (18年8月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 2日、連邦議会は14の委員会を設置した。</p> <p>(2) 3日、連邦議会審査委員会は、ディパック・ラジュ・ジョシ最高裁判所裁判長候補の推薦を拒否した。</p> <p>(3) 3日、オリ首相は内閣改造を行った。新しい法務・司法・議会担当大臣に、バブ・バクタ・ダカル氏が任命された。</p> <p>(4) 5日、オム・プラカシュ・ミシュラ氏が最高裁長官代理に任命された。</p> <p>(5) 7日、ネパール商工会議所 (NCC) は、ネパール商工会議所連合 (FNCC) から離脱した。NCCは1952年に設立され、1965年に設立された FNCCI の設立団体であり、また、FNCCI のカトマンズ郡の商工会議所として位置づけられていた。今後、FNCCI はNCCに代わるカトマンズ商工会議所の設立をする予定である。NCCは全国組織として各郡に会員を増やす計画である。</p> <p>(6) 8日、ネパール政府は、シカ灌漑建設事業の瑕疵担保期間 (Defect Liability Period) (延長された9ヶ月間を含む) を過ぎてのみ、灌漑の試行を行ったことが分かった。結果、1キューメックの流量で主要灌漑路の強度が不十分であり、各所で崩壊した。同灌漑を建設したカリカ建設は既にDLPが過ぎているため、責任を問われないこととなった。</p> <p>(7) 11日、国家監視センター (National Vigilance Center) は、地方政府職員の半数以上が、依然、財産目録を連邦政府に未提出であると述べた。</p> <p>(8) 12日、総務連邦省は、プルソッタム・ネパール局長率いるタスク・フォースを設置し、外国人ボランティアの職種及び受け入れ人数を規制するガイドラインの策定に着手した。</p> <p>(9) 14日、連邦政府財政委員会は、政府に対し地方政府による権限を越えた税の徴収に関する問題を解決するよう促した。</p> <p>(10) 14日、ネパール政府はネパール・テレコム (NTC) のカミニ・ラジュバンダリ社長の解任を決定した。</p> <p>(11) 17日、ジャング・バハドゥール・ラナ元首相により1853年に導入され数回にわたる修正を行いつつ使用されてきたムルキ・エインに代わり、新しい刑法と民法が施行された。</p> <p>(12) 17日、法務・司法・議会担当省主催の特別プログラムにおいて、KPオリ首相は、新民法及び刑法に不適切な項目があれば、修正する意向であると述べた。</p> <p>(13) 17日、カティワダ財務大臣は、憲法で定められているとおり、連邦制において二重課税は適用されないと述べた。</p>

	<p>(14) 17日、21日に予定されていた10の下院特別委員会の委員長選挙は、9月2日に延期された。</p> <p>(15) 18日、郡レベルでの元 CPN-UML 及び元 CPN-Maoist Centre の統合プロセスにおいて、パンチャタール郡で統合後の郡レベルの NCP 代表を決める議論が開始された。</p> <p>(16) 20日、大統領府は、文化専門家のマダブ・シャルマ氏及び安全保障・環境専門家のネトラ・バハドゥル・タパ氏を大統領アドバイザーとして任命した。</p> <p>(17) 20日、下院は国際テロ・国際組織犯罪・麻薬密輸対策での協力に関する BIMSTEC 協定を承認した。</p> <p>(18) 21日、設立から6ヶ月たった現在も、地方政府は職員不足の状態である。州5、7及びカルナリ州は州職員ポストの半数以上が空席のままである。州4は52ポストのうち30席が、州3は378ポストのうち217席が空席である。</p>
<p>外交</p>	<p>(1) 1日、ビラトナガルのインド政府事務所は閉鎖された。</p> <p>(2) 11日、BIMSTEC・SOM特別会合が、カトマンズで開催。</p> <p>(3) 11日、ネパールとバングラデシュは、エネルギー分野の協力に関する覚書に署名した。</p> <p>(4) 12日、ネパール・インド賢人グループ会合 (Eminent Persons Group on Nepal-India Relations) は、現在オープン・ボーダーであるネパールとインドの国境に関し、通過者が電子市民カードを携帯すること、また、決められたポイントのみでの通過を可能とすることを提案した。</p> <p>(5) 16日、ネパール・豪州第1回二国間協議がカトマンズで行われた。</p> <p>(6) 20日、スンサリ郡ハリプール国境武装警察が主催した共同会議において、同国境地域におけるネパールとインド間の密輸入を取り締まるため情報提供などの協力をする合意がなされた。</p> <p>(7) 28日、第4回 BIMSTEC 首脳会合を前に、SOM 会合がカトマンズで開催された。</p> <p>(8) 29日、ミャンマーのウィン・ミン大統領がルンビニを訪問した。</p> <p>(9) 30日、第4回 BIMSTEC 会合がカトマンズで開催された。各国首脳がバンダリ大統領を表敬した。</p> <p>(10) 31日、第4回 BIMSTEC 会合は18のカトマンズ宣言に署名し、閉会した。</p>